

横須賀の原子力空母永久 母港化に反対する大集会

戦争法案
は廃案に!

ストップ!「戦争する国づくり」 守ろう! 憲法9条

日時 **9/13日**

◆文化行事 12:00 ~

◆集会開会 13:00 / 終了後デモ行進

会場 神奈川県横須賀市
ヴェルニー公園

主催 9・13大集会実行委員会

横須賀を永久出撃基地にする
原子力空母
ロナルド・レーガンは
来るな!

連絡先 安保破棄中央実行委員会 TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
全国労働組合総連合 TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620
神奈川県実行委員会 TEL 045-201-3684 FAX 045-201-9644

ストップ! 「戦争する国」



10月にも新たな原子力空母配備

日米両政府は、今秋（「10月中旬」）にも、原子力空母ジョージ・ワシントンに代わりロナルド・レーガンを横須賀に配備し、原子力空母の永久的な「母港」にしようとしています。100年先まで横須賀が米軍基地に縛りつけられる計画にほかなりません。いま、安倍政権がすすめている戦争法案と深くかかわっています。

横須賀は、1973年以来、米空母の「母港」とされ、2008年からはジョージ・ワシントンが配備され、米本国以外で唯一原子力空母の母港とされています。アメリカによるアフガン、イラクなど世界での侵略戦争の出撃基地とされてきました。

戦争法案と「母港」は一体のもの

安倍政権がねらう「戦争する国」づくりとは、憲法9条の解釈を変えて自衛隊が海外で武力を行使し、アメリカに追従して戦争することです。そのため、原子力空母の母港化、沖縄・辺野古の新しい米軍基地建設をはじめ、沖縄に続くオスプレイの東京・横田基地や神奈川・厚木基地への配備、陸上自衛隊のオスプレイ購入や、木更津・厚木などでの拠点整備もねらわれています。

首都圏 3000万人のいのちを放射能の危険にさらすな

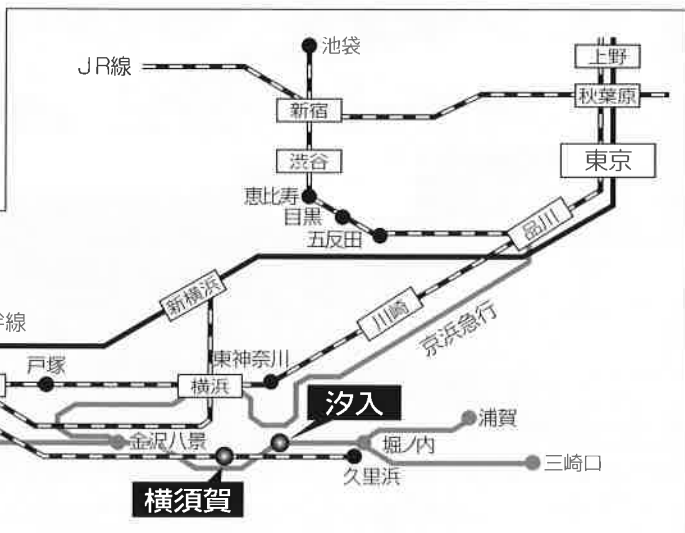
空母艦載機による爆音被害が住民を脅かし、空母乗組員による女性強盗殺人事件をはじめ、数多くの米兵犯罪、事故が引き起こされてきました。また、2つの原子炉をもつ原子力空母による放射能汚染がたびたび指摘され、住

民を脅かしています。もし、「空母」の原子炉事故が起これば、首都圏 3000万人の命と暮らしを直撃する深刻な事態になります。

武力によらない平和な世界構築をめざす日本国憲法に背き、安全に暮らしたいという市民の声に耳をかさず、原子力空母の母港を続けることは許されません。

「戦争する国」づくりをめざす戦争法案はなんとしても廃案に追い込みましょう。沖縄と連帯して新基地建設を許さず米軍基地の撤去を求めましょう。

横須賀では、空母交代の是非を問う「1万人アンケート」など、さまざまな市民運動がすすめられています。また、原発再稼働に反対する運動が広がっています。このような人たちと連帯、共同し、世論と行動を大きくしましょう。集会への参加をよびかけます。



会場までの 首都圏交通案内

- 品川駅から京急汐入駅まで約50分
※京急汐入駅からヴェルニー公園まで徒歩5分
- 東京駅からJR横須賀駅まで約1時間15分
※JR横須賀駅からヴェルニー公園まで徒歩5分